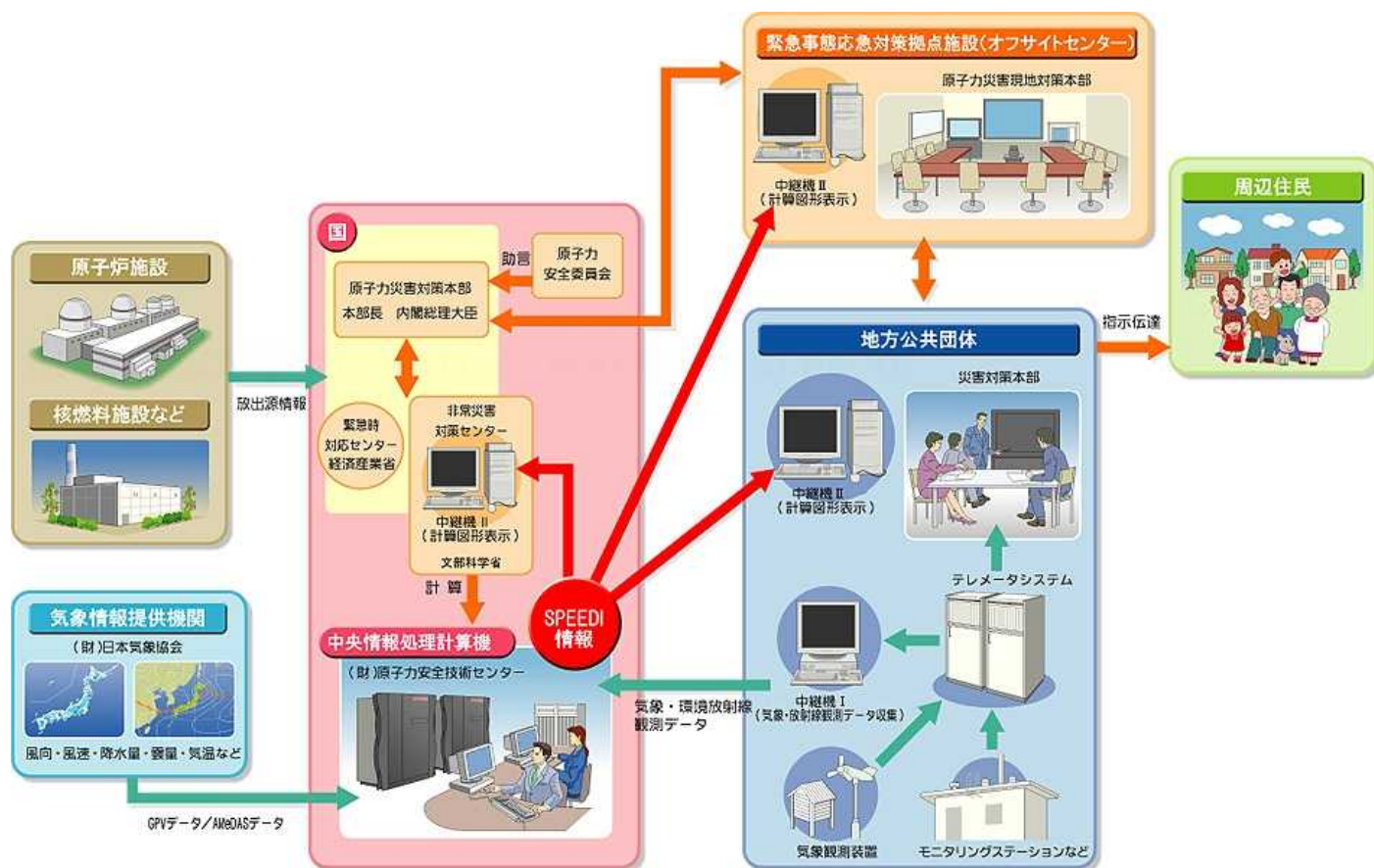


緊急時迅速放射能影響予測ネットワークシステム（SPEEDI）

緊急時迅速放射能影響予測ネットワークシステム（SPEEDI）は、原子力発電所などから大量の放射性物質が放出されたり、そのおそれがあるという緊急事態に、周辺環境における放射性物質の大気中濃度および被ばく線量など環境への影響を、放出源情報、気象条件および地形データを基に迅速に予測するシステムです。

このSPEEDIは、関係府省と関係道府県、オフサイトセンター及び日本気象協会とが、原子力安全技術センターに設置された中央情報処理計算機を中心にネットワークで結ばれていて、関係道府県からの気象観測点データとモニタリングポストからの放射線データ、および日本気象協会からのGPVデータ、アメダスデータを常時収集し、緊急時に備えています。



出典：文部科学省ホームページ